

A クラス 練習試合報告

日時:2024 年 5 月 11 日(土) 13 時

場所:太陽が丘球技場 B

練習試合 20 分×4 本

京都暁 FC 1-1 山城北 (得点者:井上文)

この日は、O-50 山城北さんより府民総体マスタース部のテストマッチに招待されて、5 月初旬にしては暑い気温の中、20 分×4本を実施。前年度のマスタース優勝チームである山城北との対戦は、今年のサンガリーグ参戦への試金石とも目された。

1本目のシステムは最近トライしている 3 バック。加えて、それぞれが通常と異なるポジションに挑戦した。ゲーム序盤はゆったりとした中でボールを回す展開となり、お互いがコンパクトな陣形となっていたため、ディフェンスラインから大きなボールを前線へフィードして、ゴール前まで押し込むことができた。相手は幅を取った攻撃で、3 バックのサイドのスペースを突いてくるため、3 センターが片方のサイドへ引っ張り出されることがあった。暁のセンターが片側に絞った裏のスペースに、逆サイドから山城北のフリー 2 選手へ大きなクロスが展開されるなどしてピンチを招くことがあったが、お互い決定機を生かせず 0-0 で終了。

2本目は 4 バック、ポジションは普段通りにしてキックオフ。1本目では、中盤の選手が相手の中盤へプレッシャーをかけに行くとその背後の空いたスペースを突かれていたが、そこを 2 センターバックの 1 枚がチャレンジしてカバー。守備が安定したことを受けて、全体のラインが押し上げられるようになった。そんな中、松本のクロスを、ペナルティエリア左サイドの外で受けた井上がゴール右側に向けてシュート。ボールはキーパーの頭上を越してゴール右のサイドネットに決まって先制。その後も安定した守りを見せて 1-0 で終了。

3本目はお互い疲れが見えてきたのか、中盤にスペースが出来始めたため、縦に早い攻撃が見られたが決定機を生かせず、逆に相手がトップに当てたボールをサイドに散らされて、ディフェンスラインの空いた隙間を通される展開となり失点。暁も好機を作ることが出来たが、決め切ることが出来ず、決定力の差で 0-1。

最終の4本目は 10 分までにお互いがチャンスを作ったが得点に至らず。そして、暁のコーナーキック。守り 2 枚を残して山城北ゴール前に人を配し、松本が蹴ったキックはペナルティエリア中央へ綺麗な弧を描き、それを CB 中神がドンピシャでヘッド。この日一番の盛り上がりとなった。最後はきっちりと守り切って終了するだけであったが、ラストのワンプレーでディフェンスラインが破られて失点。そのままホイッスルとなった。1-1 で終了。

報告者:美河倫浩